

妊産婦とパートナーを対象とした 禁煙サポートプログラムを郡上市と共同開発

【本研究のポイント】

○妊産婦及びパートナーを対象とした禁煙サポートプログラムを開発し、妊娠から出産、育児期（出産後3年）までのサポートを継続して行います。

【研究内容】

本学医学部看護学科の瀬瀬朋弥准教授が、郡上市と妊産婦の喫煙について共同研究を行いました。出産後の女性の喫煙行動はパートナーの喫煙が最も影響することが判明し、産後の再喫煙を防止するためには、妊産婦だけでなくパートナーも含めた禁煙の必要性があります。また、妊娠判明時に禁煙した男性は1割で、家庭で行われている分煙対策では受動喫煙を防止できないことを伝える必要性があります。

家庭における受動喫煙曝露の実態について実測データを用いて検証し、また、喫煙によるタバコ煙の動きを映像化しました。

検証結果により、家庭での受動喫煙を防止するために、受動喫煙防止啓発用教材（DVD）を共同開発し、視聴及び配布しています。

【プログラムの特徴】

- ・プログラムの対象は、喫煙の有無に関わらず全妊婦とパートナーであり、喫煙に関する正確な情報を提供します。
- ・地域で妊娠から出産、育児期と全数の母子と関わる機会を持つ保健師、妊婦健診で定期的に妊婦と関わる機会を持つ助産師が連携し、禁煙をサポートします。郡上市の妊婦の約8割が郡上市民病院で出産しており、連携をとりやすい状況です。
- ・禁煙者には禁煙が継続できるようにサポートを行い、喫煙者には禁煙ができるように対象者と一緒に考え支援を行っていきます。
- ・喫煙状況をモニタリングし、プログラムの効果を検証していきます。

【発表論文】

[Factors associated with smoking continuation or cessation in men upon learning of their partner's pregnancy].

[Nihon kōshū eisei zasshi] Japanese journal of public health, 60(4):212-221, 2013/04

著者:Kouketsu Tomomi, Gokan Yoko, Ishihara Takako, Tamaoki Mariko, Gotoh Tadao, Kobayashi Suzuka
ISSN:0546-1766

【本件に関する問い合わせ先】
岐阜大学医学部看護学科
准教授 瀬瀬朋弥(こうけつ ともみ)
Tel:058-293-3263
E-mail: ktomomi@gifu-u.ac.jp